



会長	橋本八右衛門	青少年奉仕	正部家光彦
副会長	妻神 和憲	幹事	小田山紀暢
クラブ奉仕		会計	岡崎 孝文
会長エレクト	石橋 信雄	会場監督	鶴飼 寿栄
職業奉仕	山村 和芳	直前会長	紺野 広
社会奉仕	小井田和哉	副幹事	中村 稔彦
国際奉仕	深澤 隆	会計補佐	浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
 事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
 電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
 e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
 http://hachinohe-rotary.org/
 会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一
 同委員 松林 拓司 同委員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ！
～個人を磨くとクラブも輝く！再構築ロータリー～

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

3月は水と衛生月間です

第3345回例会 2025.3.5

▶ゲスト

- 八戸工業大学第二高等学校
インターアクトクラブ

顧問 細越利幸さん
石鉢里玖さん

▶ビジター

- 八戸南 吉田賢治さん 櫻田泰規さん

会長要件 橋本八右衛門 会長



今月はロータリーの重点目標であります『水と衛生月間』です。タイの3330地区の話もありますし、本年度のロータリーマジックのテーマの元となったドミニカ共和国の浄水器設置プロジェクトの話もあります。が、本日はちょっと柔らかい話で、ロータリークラブで水というと日本酒。本日はやっこいい様です。

実を言うと明日が青森県の新酒の鑑評会です。今年出来上がった新酒を評価して、その品質を定めるという会です。金賞、銀賞があり、金賞ですと新聞にチラッと載ったりしま

す。本来ならわたしは今日青森にダッシュしてこれから準備ですが、今回は準備にわたしは必要ありませんということで、こっちを優先しています。

本日準備をして、明日審査になります。審査の方法は皆さんテレビなどでご覧になると白衣を着た先生方が利き猪口を鼻にあてたり、口に含んだりする映像を目にしていると思いますが、コロナ以降その様相が変わりましたが、飲み屋さんに行くと蛇の目を模した小さな器で一合飲まれていると思いますが、まさにあれの大きなもので審査をします。昔はそれを回し飲みをしていた。実際にサンプルの前に置かれた酒の入ったお猪口の前に行って実際に口を付けてジュルジュルと音を立てて、そういう利き酒の仕方をしていました。

が、今は、プラカップにサンプルをスポイトで取って、それを自分の定位置の席に置いて、座って利き酒をするようになりました。コロナが終わったからといってもとに戻るわけではなく、この審査でどこでもやっています。青森県の鑑評会が終わるとその結果を基に、5月に行われる全国新酒鑑評会にお酒を出品するわけです。そちらも同じやり方をす

るようになりました。

昔は利き猪口を皆さんで回し飲みをするわけですから、その前に変なものを食べたり、匂いの強いものが周りにあったりするとちょっと困るということで、いろいろ気を付けながらやっていました。今考えると、間接キスという形になりますので、それをよくやっていたなということになります。

審査の方法は、ひじょうに品質のいいお酒であれば1、いろんなことでどうかな、一番評価が低いのは5で、5点法といいます。その時の味や香り、バランス、口当たりなどを総合的に評価する。審査委員は今はだいたい12~13人ですが、その数値を合評して平均値を出して上から順位を決めて、全体の上位から何%が金賞、そこからこぼれた上位何%が銀賞ということで評価する形になっています。そういうお酒だから素晴らしいだろうと思われるかも知れませんが、ひじょうに香りも高く、味も濃く、今のお酒は甘く、1口飲むともう飲まなくていいかな、もう飲めない。高品質ではあるけれども、そういうふうなお酒です。

秋にも同様に、秋口の鑑評会がありますが、その時にはお披露目パーティーも開かれて、一般の方にもチケットを買っていただくこともやっていますので、もし興味のある方は参加してみるのもおもしろいかと思います。われわれにとっては命の水です。

同様、ロータリーにとっては世界のいろんな方が水で苦勞しているの、それを一生懸命助けるといことです。滅びゆく日本酒です。われわれの“水事業”にもぜひご協力いただければと思います。

幹事報告 小田山紀暢 幹事



- 3月ロータリーレート
1ドル=150円

委員会報告

親睦・会場委員長

佐藤恒寛委員



○ニコニコボックス

- 奥様誕生祝 峯 正一さん
 - 結婚記念日 寺下一之さん
櫻田泰規さん（八戸南）
- 本日はよろしく願いいたします。

橋本八右衛門さん 多くの皆様、いらっしゃいませ!!

小林幹夫さん 確定申告はお早めに(笑)。

宮下 悟さん 娘と一緒に過ごせるのも残り1ヶ月となりました。とても淋しいですが元気でがんばってくればそれでよし!

小井田和哉・小田山紀暢さん ニコニコデー

八戸南ロータリークラブ

櫻田泰規様



本日は八戸ロータリークラブの例会にお邪魔させていただきありがとうございます。わたしは八戸南ロータリークラブ今年度副会長、会長エレクトを仰せつかっております櫻田と申します。

どうぞよろしく願いいたします。来る4月19日(土)八戸パークホテルにおいて、当クラブ創立50周年記念式典を開催させていただきこととなりました。当日は午後2時30分より榎谷伸夫様の記念講演「南部弁昔っこいろいろ」、午後4時30分より記念式典、午後6時から懇親会を予定しています。現在当クラブでは無事に盛大に式典が行われるよう、会員一丸となり準備をしております。つきましては八戸ロータリークラブの皆様にはぜひ当日ご参加いただき、一緒に盛り上げていただければと考えております。たいへんお忙しいところ申し訳ございませんが、どうぞよろしく願いいたします。当日お待ちしております。



台湾研修旅行



顧問 細越利幸さん

日頃から八戸ロータリークラブの皆さんにはたいへんお世話になりありがとうございます。きょうはこのような発表の機会、本校の石鉢里玖に台湾の研修に参加する機会を与えていただきましてまことにありがとうございました。

なかなか海外に出る機会はあるようではないと思います。わたしも60才のこれまでに海外旅行は、30年くらい前の30才のときに本校のカナダ研修の引率で行ったきりで、海外の自然、文化の違いに衝撃を受けて帰ってきた記憶があります。できればもっと早くこういう機会を若いうちに持てればいいなと思っていて、今回石鉢が高校2年生で参加できたということは、彼にとっても有意義な経験になったと思います。

きょうの発表ですが、本校の3学期はいろいろ行事が多いです。二高の入試、定期考査、一昨日には卒業式がありました。これらはすべて授業を削って、練習して臨むという行事だらけです。そういう中できょうの発表のために準備をして、今回の発表になります。行き届きな説明もあるかと思いますが、大きな目で聞いていただければと思います。今後ともよろしくお願いします。

「台湾研修旅行報告」

石鉢理玖さん



一日目。初めての海外旅行に期待と不安と初めての飛行機に恐怖を覚えつつ、映画を見たり、寝たりしていたら、何事もなく無事に台湾に到着しました。着いたときにはもう夜だったため、早速ホテルに向かいました。ホテル周辺には日本でもおなじみの「すき家」や「セブンイレブン」があり、さすが日本を代表する大手チェーンだと感嘆しました。セブンイレブンでは日本では見たことないようなお菓子や食べ物があり、見ていてとても面白かったです。

ホテルに戻った時には初めての飛行機の疲れのためかすぐに寝ることができました。

二日目。ベッドの寝心地がよく、起きたら台湾に来ていることを忘れるくらいでした。朝食後、早速バスに乗り込み「中正紀念堂」に向かいました。ここは蒋介石を称える場所で、台湾の歴史について学びました。台湾人が蒋介石をどう思っているかについても教えていただきました。もちろん建国の父として敬っている人もいる一方、蒋介石がいたから戦争が起こったと主張する人もいるということです。蒋介石が亡くなった年齢は89歳ということも聞き、豆知識として中正紀念堂も正面階段は84段あり、プラス5すると覚えやすいとガイドさんに教えてもらいました。ちなみに蒋介石について調べると、亡くなった年齢は89歳とも記載がありますが、台湾では生まれた年を1歳と数えるので、日本では88歳、台湾では89歳となります。

次に訪れたのは「国立故宮博物院」という場所で、ここには中国で作られた様々な美術品が展示されています。有名なものの一つに、清の時代に作られた翡翠屏風があります。表裏すべての翡翠の部分違う職人が手掛けており、とても見ごたえ抜群でした。戦後に昭和天皇が台湾にこの屏風を返還したことで有名です。

他にも驚いたのは日本の七福神が中国では八福神だということです。彼らが日本に船で来る際、酒好きで足が悪く、杖を突いている神が乗り遅れたというのが理由で七福神になったそうです。

次にこの場所で一番有名な作品の「翡翠白菜」を紹介します。この作品は、一人の職人が生涯をかけて作ったと言われていています。ちなみに中国の歴史ではこのような芸術品を作った職人は権力者によって殺されてしまい、名前も残らないといわれています。その理由は他の権力者に同じような作品を作られないようにするため、つまり世界でただ一つの作品にし、権力を示すためだそうです。そのことを知ら

なかったと言われている翡翠屏風の職人たちのことを思うとゾッとします。しかしそのことを知っていたと言われている翡翠白菜の職人はすぐに殺されないように生涯をかけて一つの作品を作ったのではないかとされています。

昼食は火鍋を食べました。本場の火鍋ということでとても食べやすかったです。

昼食後、羅東高校に向かい、最初に日本語研究部の生徒たちと交流しました。日本語の手紙を貰ったり、羅東のお菓子を貰ったりしました。その後はホームステイのパートナーと合流しました。パートナーの名前は薛孟儒、日本のアニメが好きで何回か日本に訪れたこともあるそうです。他にもスクワットで140kgは上げるなど、バイオリンやピアノもできるそうです。多趣味で話しやすく、日本語が上手なのでとても会話しやすかったです。パートナーと合流後、ウェルカムパーティーで楽しそうな大人たちのカラオケを聞きながら夕飯をとり、その後パートナーと夜市に向かいました。夜市の雰囲気はまるでお祭りのようで、多くの屋台が並んでいました。お祭りと違い服屋や日用品が多く売られており、本当に夜市が市民の生活の一部なのだと感じました。夜市を歩きながらパートナーから色々教えてもらいました。例えば、台湾ではレシートに8桁の番号がついており、全部当たると100万円、日本円にして約500万円が貰えるということだったり、台湾では雨が多いので歩道が建物の下にあることが多かったりするそうです。

三日目。文化交流会が終わった後、日本語研究部と一緒に授業を受けました。授業の内容は台湾での昔ながらの糸の作り方や装飾品の作り方を習いました。実際にキーホルダーを作ってみました。複雑でしたが会話しながら楽しく作ることができました。その後は羅東高校についてパートナーから色々教えてもらいました。年末に学校でパーティーが催され、体育館で歌ったり、踊ったり、地元の有名人を招待するそうです。他にも終業式に校長先生から抽選でお金が貰える話、生徒の数が1900人以上、教員が150人以上でとても多いこと、IDカードで管理しており、出欠の

確認の他、お金を入れて学食で使用できるなど、日本の学校ではなかなか聞いたこともない内容に驚かされました。

午後は「国立伝統芸術センター」というところに向かいました。ここでは昔ながらの台湾の商店街や、霧がかかりやすいことをミストで再現した場所、台湾の寺院、礼法の仕方、アジアの楽器や台湾の人形劇など見ていてとても勉強になる場所でした。自由探索の後はみんなで木組の授業を受け、台湾人と自然の関わりを学びました。

その後はホームステイ先に帰り、待ちに待った夕食として最近できたという「ライライステーキ」という場所に連れて行ってもらいました。パートナーが隣で大きいステーキとチキンをいとも簡単に完食していて驚きました。夕食後はパートナーの母親が琴の先生をしているということで、パートナーの姉と一緒に琴で「戦場のメリークリスマス」やジブリの「人生のメリーゴーランド」を弾いてくれました。とても綺麗な音色で感動したことを覚えています。

四日目。楽しく過ごさせて頂いたホームステイも終わり、別れの挨拶をしました。今でもパートナーとはラインでたまに連絡を取り合っています。普通に日本語でチャットしてやることに驚いています。

パートナーと別れた後は台北の「龍山寺」に向かいました。108本の柱が釘を使わずに作られたと言われています。本殿の柱は一つの岩を掘って龍や花鳥図を作り上げたそうです。龍山寺には100以上の神が祀られており、有名なのは学問の神「昌帝君」、商売人なら誰しも拝みたいであろう商売繁盛の神「関聖帝君」などが祀られています。縁結びの神「月下老人」も祀られており、月下老人に祈る方法はサイという三日月型の木を表と裏が出るまで投げ続けます。表と裏が出たら伝説で有名な赤い糸を持ち帰れるそうです。

次に台北101に向かいました。世界で3番目に高い建物だそうでとても圧巻でした。展望台に行きたかったのですが、当時は大谷翔平選手の50-50ボールが展示されているという

ことでとても混んでおり、残念ながら見学は断念しました。昼食はとても有名なデュンタイフォンという点心料理店で食べました。平日でも多くの人で混み合っていました。本場の小籠包はとてもおいしかったです。

次は千と千尋の神隠しのモデルとなったという噂で有名な九份に向かいました。提灯が多く並ぶ様子は美しく、さらに細い路地には茶屋やおみやげ屋が並んでいる光景は本当に千と千尋の神隠しの舞台に迷い込んだ感じがしました。しかしながら150段以上あると言われている急な階段は登るのがなかなかキツかったです。最後は台北の夜市に向かいました。こちらは羅東の夜市と違い、遊び場的な感じで、射的や輪投げなどが多く並んでおり、ゲームセンターに来たような感覚でした。

最終日、長かったようで短かった台湾での生活も終わり、ガイドさんに別れを告げ、飛行機に乗りました。相変わらず離陸と着陸は少し怖かったですが、無事に羽田に着いたときは日本語があることに不思議と安心感と寂しさを覚えました。家に帰ってからは家族に台湾での面白い話をたくさんしました。

今回の台湾研修旅行を通して、私はたくさんのお話を学ばせていただきました。まず、生活習慣の中でびっくりしたのはトイレの使い方です。台湾ではトイレにトイレットペーパーを流すことが出来ず、使った紙は横にある箱の中に入れるという使い方をします。完全に日本のトイレに慣れきってしまっている私は、毎回日本のトイレを恋しく思っていました。また、後悔したことは食事の写真を撮り忘れたことです。コースで出てくることが多く、量も多いため食べることに精一杯だっ

たからです。他にも旅の疲れから後半食べる量が少なくなってしまうたり、景色の写真を撮るのが少なくなってしまうたりとスタミナ不足を実感しました。

今回の研修を通して一番の収穫は、やはり日本との生活習慣や文化の違いや台湾の歴史について、現地に行かなければ得られない知識を得ることや経験をすることができたということです。台湾のすばらしさを実感できたと同時に、改めて日本の課題やよさも実感できた研修会でした。今回の研修で学んだことや経験したことを今後の人生に是非活かしていきたいと考えています。今回このような体験をする機会を与えてくださったロータリークラブの方々にこの場を借りて改めてお礼を述べさせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

質疑応答

Q1：ありがとうございました。海外でも国内でもそうですが、出て歩くときに目的地だけでなく、途中の道で、例えば生活環境はどのようなのか、どういう物を売っているか、どういう服装の方が多いいのかなどをずっと見るようにしています。目的地だけではわからない生活をしているか、そういった日常の中で一番印象に残ったものがあれば教えてください。
A1：一番印象に残ったのは日本では車が多いですが、向こうの人は原付バイク。道路には原付を止める専用の場所が。島なので多くの人移動しやすい方法なんだと感心しました。他にも日本と違うのは信号に時間が書かれている。次の赤信号まで何秒、次の青信号まで何秒というのに日常を感じました。

出 席 報 告					出席委員会						
第3345回例会（3月5日）			第3343回例会（2月5日）								
出席率		58.1%	出席率		65.1%	修正出席率	71.4%				
総会員数		66名	出席数		36名	総会員数		66名	メイクアップした人数	4名	
出席義務会員	62名	出席免除会員	3名	欠席数	26名	出席義務会員	63名	出席免除会員	3名	欠席数	18名

会 長 要 件 橋本八右衛門 会長



今月は八戸ロータリークラブの水は“日本酒”だということで、日本酒がらみの話をさせていただきます。日本酒の一番重要な味の元になっているのは水です。日本酒の8割は水です。だいたい蔵元は足元にある地下水、湧水などを汲み上げて、それを仕込み水として使っています。うちの八日町の井戸もグランドホテルさんが建つまでは40mの井戸だったのですが、建ったときに井戸が一回枯れ、現在は100mの井戸。如空を造っている五戸は5～6mの浅井戸です。

仕込み水は隣接している川の伏流水が多くて、なかなかその水の性質にお酒の味が特徴付いてくるというところ。蔵元さんの中には完全に水道水を使って、それにいろんな加工をして、それでもおいしいお酒を造られているところはいっぱいある状況です。

酒造用の仕込み水として必要な特質は無色透明であること、匂いや味に異常がないこと、鉄、マンガンなどがなるべく含まれていないものなどの要件があります。PHは中性か弱アルカリ性か。細菌、有機物など汚れた成分が入っていないことです。そういうのは毎年水の検査は必要ですが、ふつうの飲み水よりも詳しい検査をして、確認をしながら酒造りをさせていただいています。

その他必要な成分で酒の味に影響してくるのはカリウム、リン、ミネラル分はいろんなところで全然違うバランスを取っている、それぞれの水で違う要件です。これによって酵母の発酵の具合が大いに変わり、仕上がりがひじょうに変わってきます。それぞれの蔵元で変化してくるということです。

良く言われるのは硬水、軟水、水の硬度によっていろんな性質が出てきます。それに象徴されるのはミネラルウォーターなどで硬水の代表格は“エビアン”、軟水では“ヴォル

ヴェック”、“南アルプスの天然水”などわれわれが日本で買うミネラルウォーターはほぼ軟水だったりします。ヨーロッパで水を使うと石鹸やシャンプーが泡立たないというのはあちらの水はどちらかというと硬水、そういうのを経験された方もいらっしゃると思います。

これもお酒の水に影響があります。硬度で区別され、カルシウムやマグネシウムの含有量で硬水、軟水と言ったりしています。ドイツ硬度などもありますが、日本の場合はアメリカ硬度で、炭酸カルシウムの含有量で指標を出して、硬度が1リットル辺り100mg以上含まれていれば硬水、それ以下を軟水と区別しています。一番有名なのは灘の宮水で、これはひじょうに酒造りに適していて硬度は125mg。

うちのお酒では、八鶴の井戸水は80mg、如空は40mgですので、八鶴はどちらかということ硬水よりの軟水、如空は完全な軟水です。八鶴はひじょうに切れと旨味がはっきりした、切れとコクが特徴な“男酒”と言われ、如空は味はきめ細やかで口当たりがよくまろやかな雰囲気のあるお酒で“女酒”と区別されます。飲むときにはそういうことを感じて飲まれないかもしれませんが、そういう区別があります。日本酒には水はひじょうに重要です。これからも日本酒をよろしくお願いします。

入会式 株式会社島守ダクト 代表取締役
島守英樹さん

推薦者からの紹介：松本剛典さん



島守英樹さんは昭和45年生まれの55才です。わたしとは幼馴染で城下小学校、八戸第二中学校で同級生です。約7年前に父親の後を引き継ぎ、株式会社島守ダクトの代表に就任。他にも青森県ダクト工業界会長、全国ダクト工業団体連合会理事も務められています。島守ダクトは地元のみならず、県内外でも数多くのダクト管工事業を手掛けた実績があり、当社の新工場建設の際にもダクト工事ではたいへんお

世話になりました。現在、受注売り上げ好調による工場規模拡大のため、本社工場を当社の近くの沼館1丁目に移転中で、これから本業もますます発展されることと思います。

以前は八戸商工会議所青年部にも所属しており、副委員長や各委員長を務めた経歴もあり、人望も厚く、見た目通り柔和な性格で皆様から親しまれる人物です。一番の趣味はオートバイで当クラブの夏堀礼二さんや浜谷英幸さんとはツーリング仲間当たり、よく近くの峠をせめに行っていたらしいです。浜谷さんいわく、オートバイの腕前は夏堀さんと同じくらいすごいみたいです。またゴルフもされますが、ドライバーの飛距離だけでいえば、同じ名前の松山英樹に似た豪快なスイングで300ヤードは飛ばしますので、今年の水曜会のコンペではきっとドラコーンになるのではと思っています。

彼との思い出は小学校時代によく先生に怒られて、廊下に立たされた記憶があります。そんな二人が今こうして伝統ある八戸ロータリークラブで並んで立っていること自体、とても感慨深いものがあります。わたしは友人として彼が早く八戸ロータリークラブに慣れるよう、全力でサポートしますので、どうか皆さまも島守英樹さんをよろしく願いいたします。

また彼はけっこういじられるのが嫌いではありません。プライベートではぜひ“ヒデキ”と呼んでいただいて、可愛がっていただければと思います。

会員章伝達 新会員挨拶

島守英樹さん



八戸市沼館で換気設備工事をしています株式会社島守ダクト代表取締役の島守英樹です。どうぞよろしく願いします。

このたびは伝統と歴史のある、そして格式のある八戸ロータリークラブに入会させていただき、まことにありがとうございます。松本さんとは小学校、中学校の同級生でいろい

ろ近所で悪さをしながら遊んだ仲です。浜谷さんともバイクを通じて北海道や東北各地をツーリングしたりして、いつも楽しんでます。きょう例会に参加させていただきまして、取引先様、夜な夜な町で行き会う方々がたくさんいて、これから楽しいロータリー活動ができそうな予感がしています。今後ともどうぞよろしく願いします。

幹事報告 小田山紀暢 幹事



○八戸南RC創立50周年記念式典について

今日が申込締切で、まだ15名くらいのご参加です。八戸クラブは親クラブとして参加していただきたいと思っていますので、ぜひご参加をお願いします。

○地区バッチのご案内

これからご案内しますが、地区から地区で作った“地区バッチ”のご案内がきています。1,000円の寄付をいただくとロータ君とロータリーバッチが付いたバッチがきます。ご希望の方は手を挙げていただければと思います。

委員会報告

親睦・会場委員会

竹石 雄委員長



○ニコニコボックスの報告

- ・誕生祝 紺野 広さん
- ・奥様誕生祝 村上壽治さん
- ・結婚記念日 地代所久恭

佐々木泰宏さん

橋本八右衛門さん 確定申告はお済みですか？すっきりしました。

鴨澤 諭さん 本日卓話させていただきます。

上村奉樹さん 鴨澤さん、卓話楽しみにしています。

佐藤恒寛さん 栗谷川さん、鴨澤さんお話たのしみにしております。

小林幹夫さん 島守さん、ようこそ八戸ロータリークラブへ！

小井田和哉・熊谷清一さん ニコニコデー

ロータリーの友委員会 道尻誠助委員長



見て楽しい、読んで感動するロータリーの友委員会の時間がやってきました。前半はわたしが、後半は八戸ロータリークラブ面白い人は集まれる会

会長 栗谷川敏彦さんをお迎えしています。栗谷川さんはひじょうに優しい方で、いろいろ困りごとや辛いことをお話しすると何でも水に流してあげるという心広い方です（水道屋さんだけに）。

きょう会場に入りましたら、皆さんがピカピカ、ピカピカひじょうに輝いていました。これは何のせいかと思って、ちょっと考えたら、皆さんきっとロータリーの友を読み始めたのではないかと。ロータリーの友を読むと幸せホルモンがワットと出る。ここまでやってきたことが開花しそうだと思って、春に向けて花が咲きそうな雰囲気を感じて喜んでいます。先週、栗谷川さんにきょうのことをお願いしたら、ハイといわず、よろんで。本当に受け答えに敏感な方で、きょうの話はひじょうに期待できると思います。

皆さんはロータリーの友をどちらから読むのでしょうか？ 横組みの方から読む人はひじょうに真面目な正確な方だそうです。縦組みから読む方はだいたいアバウトで、順序関係なく自分の読みたいところから読む。どちらにしても読めばいいんです。あと何か月で今年度も終わりますが、そういう雰囲気を味わっていただければと思います。“読む”ことは“知る”ことです。知って理解して、一歩踏み出して行動すれば、すごいロータリアンになると思います。

八戸ロータリークラブ面白い人は集まれる会 会長 栗谷川敏彦さん



昨日で東日本大震災から14年ということで、今回ロータリーの友に素晴らしい項目が載っていましたので、これを抜粋して報告したいと思います。

「トイレが使えない恐怖」

震災などがあった場合、トイレは使えなくなります。水が止まるその時にどうなる？ 文は読みません。水が止まるとどうしてもトイレの水は流れないということで、トイレは使えなくなります。お風呂にお水が溜まっているのを使う方法があります。そういうときのためにお風呂の水は洗う時だけ水を抜く、何かあったときにそれを使えるようにする、という手もいいのですが、それもどうしても限りがあります。そういうときに水が使えない。

仮設トイレなどを準備する期間、公共の建物、避難所の仮設トイレを準備する場合は平均すると4日～7日かかるそうです。そういうときの場合のために、きょうはおしっこ用簡易トイレを3つ持ってきました。男女兼用です。おしっこだけで、その中におしっこをすると固まります。それを付属のビニール袋に入れて捨てますのでひじょうに衛生的です。これは何個あればいいの？ 計算すると1日5回と本には書いてありますが、朝、10時、お昼、3時、夕方、寝る前。予備も入れて1日一人当たり7個。避難所に仮設トイレが準備されるまでの間、長く見積もって1週間。7個×家族人数×1週間分を準備しておいたほうがいい。今ご覧いただいたのはおしっこ用携帯トイレです。

大便のほうは段ボール製やプラスチック製のトイレは5,000円前後で売っています。おしっこはこちらでもできますが、大は市販品の段ボール製やプラスチック製のトイレ。中には凝固剤とビニール袋が入っています。使い終わったらビニールで蓋をしてしまう。これがない場合は、家にこういう形の水洗トイレがあった場合、便座にカバーして、これにビニール袋をぶら下げてください。それをそのつど取って捨てる。これが一番簡単な方法になります。

これはイベント場にある仮設トイレです。マンホールトイレは何か。下水パイプが横に流れていて、上に穴が開いています。ここに鋳鉄製の和風便器みたいなものを取り付けます。こちらは水が無ければ当然流れませんの

で、水が流れたら下水管につながって流れていきます。水源は井戸水、川の水などその場所によって変わってきます。これを準備するのも時間がかかるので、皆さんは簡易トイレを準備されたほうがいい。

今、東日本大震災のときに揺れなかった北海道沖の方が揺れるという予想が出ています。そうした場合、八戸市の津波の高さは26mになっています。そうすると、沼館、尻内近辺までは水が来ます。けっこうな範囲での津波が予想されていますので、いざ高いところに逃げる際にこういうものを持っていると、家族の人を守れるのかと思いますので、そこを皆さんちょっと考えていただければいいと思います。

自宅で震災が起きました。津波が来て、水が家の周りまで来た場合に排水は流れなくなります。そういった浸水している場合、2階にトイレがあるからと、そっちを使ってしまうと、1階のトイレから溢れてくるときがありますので、皆さんご注意ください。当然、小便器がついていると当然溢れてきます。こうなってしまうと、その階は使えなくなって

しまいます。臭いや汚物も出てきます。そういうところを十分注意しながら、簡易トイレを準備してください。

また、椅子を切り抜いて、ここにビニール袋をぶら下げるというアイデアも必要になってきます。その都度、皆さん知恵を拝借していろいろ検討してやってみてもらえると、家族の方を守れると思います。

水洗トイレが壊れました。ライフラインが止まりました。つまり水が来なくなりました。そうしますとトイレ環境が悪化します。飲まない、食べない。こうなっていくと体力が減っていきます。体調不良になります。トイレにばい菌が入って下痢、嘔吐などで具合が悪くなっていくことがあります。そうすると災害関連死などにつながっていきますので、衛生的に保つためには簡易トイレを利用する。そういう心配をさせないようにする。そういうメンタル面のケアもする。そういう形の対応をよろしくお願いします。細かい資料などもありますので、何かあったらご相談ください。



会 員 卓 話

鴨 澤 諭 さん



先日のIDMでわたしの未熟なウクレレと歌を聴いていただいた方、たいへんありがとうございました。こういうロータリーの席でやるのはひじょうに恐縮ですが、ヤジや飲み物などが飛んでくることなく無事に終わらせていただきました。何かの機会があれば呼んでいただければと思っています。

きょうはわたしの個人的なプロフィールを紹介し、時間があれば仕事、会社の紹介もしたいと思います。

去年の法人会の機関誌にわたしのインタビューが載っています。いい笑顔ですね、と言われます。何枚も写真を撮って、その中から写真屋さんが選んでくれた写真です。プロ

フィールは昭和36年(1961年)生まれです。八戸市寺横町の昔の鴨澤塗料があったところで生まれ、育ちました。吹上小学校、一中、北高、専修大学経済学部に進みました。

大学を終わって、本当は継ぐ気がなかったのですが、大学にも行かず麻雀ばかりやっていた、4年までに単位がほぼ取れていなかったもので、これは卒業する見込みがないと思って安心していましたら、なぜか適当に受けた試験がみな優・良で卒業単位に達してしまいました。就職活動は何もしていなかったもので、しょうがないから家に帰るか、家に帰って継ぐことにしたと親父に電話をして、積極的でない形でうちの会社に入りました。

中学の辺りから高校時代、バンド活動ばかりやっていました。あの頃は公会堂も高校生

が単独で借りられたので、かなりコンサートを企画して、チケットをいっぱい刷って、みんなに売りつけて、それでけっこう資金稼ぎもしていました。何を思ったか、おじいちゃんおばあちゃんを呼んだ出演者がいて、一番前の席で（今はお弁当を食べられないけれど）お弁当を食べているんです。誰だ？呼んだヤツ？そんなわけで、けっこう派手にバンド活動をしていました。

何とか受験勉強はほとんどしていなかったのですが、お陰様で専修大学に入ることができました。入ったら入ったで、今度はだいたい酒、マージャンです。専修大学は神奈川県川崎市の生田の山の上にあります。向ヶ丘遊園の駅から大学まで急な坂があります。その坂道の途中に雀荘がいっぱいある。で、通学の途中で歩いていると、雀荘の窓が開いているとだいたい通学する人が見えるわけです。すると先輩が3人くらいで待っていたりして、足りないから入っていけ。授業があるのですが……。大丈夫だから、出なくても。

ということで、学校に行かずにそのまま雀荘に登校して、雀荘から下校するという生活をしていました。夜は夜で居酒屋に行って安酒を飲む。その当時はサントリーホワイトを飲めるともうかなりいい方で、トリス、ブラックニッカくらいがだいたいいつものお酒でした。その頃はお酒も高かったので、安酒だけ飲んでいました。先程いいましたように、大学をどうにかイレギュラーで卒業させていただきました。

一応、修行ということで東京の取引先メーカーに就職し、その時に初めて車を買いました。それが中古の三菱のジープだったんです。軍隊で使っていたようなジープを買い、それで今度はその仲間が増えました。その頃はジープなど四駆で山を走りまわるのが盛んな時期で、キャメルトロフィーという国際イベントもあった頃です。平日は仕事をしているのですが、富士山にまだ車で登れたので、毎週のように週末はそういうところに行って、仲間とキャンプをしながら遊んでいる。今は富士スバルラインというきれいな道路が通っ

ていますが、昔、バスが砂利道を通っていた廃道の小路口登山道があり、これが荒れ放題の道でしたので、そこをジープで走るとひっくり返りそうで（ひっくり返った者もいました）ひじょうに楽しいので、毎週のように行っていました。

その近くにはオウム真理教で有名になった上九一色村があり、その頃にも富士山の麓にはかなり宗教施設があり、下手に入っていくと何か変なおじさんに追いかけられたとか、そういうこともありました。そうやって3、4年過ごしてきたわけです。

そろそろ修行も終わって1987年、八戸に帰ってきました。その頃はひじょうに景気が良く忙しかったです。入って早々、だいたい毎日9時10時まで稼ぐような生活を続けていましたし、その当時は仕事が終わると会社で麻雀、トランプなど（金をかけて）というのが蔓延していました。仕事を残業しながら麻雀やトランプをやるという荒れた生活をしていました。

そうしているうちに、ある方からお誘いを受けまして、30代半ばに青年会議所に入らせていただきました。JCに入りますと、生活が全部JCになりました。昼くらいから事務局に行っ、だいたい夜中3時くらいまで。会議が終わった10時、11時から飲み始めて2時、3時という毎日。そういう生活を10年ちよいしました。今は青年会議所はいろんな趣味をやりながら活動をしているようですが、あの頃は全部がJC、JCに捧げなければいけないというような風潮がありまして、趣味のジープやバンド活動はできなくなって、その間とはとにかくJC、JC。親父にはぶつくさ言われながら続け、理事長以外の役職はすべてやりました。理事長だけやりませんでした。今から考えると理事長をやれと言われたときにやっておけば良かったかなと思っています。

昭和36年（1961年）生まれという、この会では夏堀礼二さん、地代所久恭さん、辞めた於本正さん、何か共通項があるかと思いません。個性的でわが道を行く。悪く言えば癖が

強く協調性が微妙、というそういう世代です。わたしもなかなかあまり協調性がないかなと思っています。

J Cを卒業して、やっと自分の時間ができました。J Cの最後の辺りから始めていたのですがスキューバダイビングを。J Cの先輩で水沢J Cに居た方がちょうど日本青年会議所のトップになったときに、その方とアジア大会の企画でバリ島に2週間くらい行かなければいけないときがあり、行っているときに夜はパーティーで忙しいのですが、昼は暇なので潜りに行くからついてこないか。それで体験でスキューバーをやったらはまってしまいました。J Cを卒業して10年間くらいはスキューバーばかりやっていました。ガラパゴスにも行きましたし、エジプト、死海など世界のあちこちに行って潜ってきました。当時は一時的な独身だったので、ひじょうに独身貴族を楽しませていただき、ほぼお金はそっ

ちに使っていた感じでした。

そうしているうちに50才くらいで今の妻と結婚しました。子供ができてこれは海外に潜りに行っている場合じゃないです。妻と子を置いて海外リゾートに遊びに行っているという状態がなかなかできなくて、潜りはいけないということで、またバンド活動を。もともと妻と知り合ったのがライブハウスでした。妻もバリトンサックス吹きなので、音楽だったら多少は大目に見てくれるだろうというので、またバンド活動を始めました。

元々は高校時代はベースだったのですが、またバンド活動を始めたときは歌とかギターで再開しました。どうしてもベースだと一人ではできないので、ギターと歌でやろう。ここ数年はウクレレにはまっていて、先日のようなウクレレ弾き。芸名はウクレレ・ピン芸人チェリーカモサワ。何で“チェリー”なのかは微妙です。

出 席 報 告						出席委員会																	
第3346回例会（3月12日）				第3344回例会（2月19日）																			
出席率		58.7%		出席率		61.9%		修正出席率		68.8%													
総会員数		66名		出席数		37名		総会員数		66名		メイクアップした人数		4名									
出席義務会員		63名		出席免除会員		3名		欠席数		26名		出席義務会員		63名		出席免除会員		3名		欠席数		20名	